

副産物情勢

6月12日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考		
内 臓	1.国産牛	○ 4月の成牛と畜頭数は、94.9千頭(前年比98.3%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:48.0千頭(前年比103.1%)、交雑牛:22.7千頭(同101.6%)、乳牛去勢:9.1千頭(同81.3%)となった。 ○ 5月の成牛と畜頭数は、速報値(5月31日まで集計)で83.2千頭(前年比94.5%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(5月28日公表)によると、5月の出荷頭数は、交雑種が増加するものの、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。 6月は、乳用種の減少が見込まれるものの、和牛および交雑種が増加することから、前年同月並みと予測する。(5月 85.7千頭(前年比96.8%)、6月 85.3千頭(同100.2%)) 3か月平均(4月～6月)では、出荷頭数88.8千頭(前年比98.4%)、生産量28.4千ト(同98.1%)と前年同期を下回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物はタン・ハラミ・ホホの通年商材の引き合いは継続、ハツ、レバーの動きも堅調。 白物は一部商品を除き全体的に余剰感が継続している。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月 26日 25 5 令和3年10月 18日 35 7 令和4年2月7日 25 5 令和4年4月4日 35 7 令和4年8月8日 45 9 令和6年12月2日 48 9		
	2.国産豚	○ 4月の全国豚と畜頭数は、1,376千頭と前年下回った。(前年比97.7%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道97.3%、東北98.2%、関東98.5%、北陸甲信越98.5%、東海101.9%、近畿92.7%、中四国93.7%、九州・沖縄96.9% ○ 5月の全国と畜頭数は、1,306千頭(速報値5月31日まで集計、前年比96.0%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は65,315頭(前年実績:64,781頭/日、前年差534頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;5月21日付け)によると、6月;1299千頭(前年比109%)、7月;1,303千頭(同99%)、8月;1,291千頭(同106%)、 9月:1,293千頭(同101%)、10月:1,480千頭(同102%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約103%と前年を上回る見込み。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物は引き続き夏場需要により全体的に堅調に推移している。冷凍レバーの市中在庫は保合い。 白物は、小腸・大腸ともに保合い傾向ではあるものの、小腸は一部冬場用の貯めこみの動きもある。	※乳牛45円/kg ※豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月19日 25 3 令和3年10月 15日 35 4 令和4年2月1日 25 4 令和4年3月28日 35 4 令和4年8月1日 45 5 令和6年12月2日 48 5		
	3.輸入牛	○ 4月の輸入通関実績は、全体で53.1千トと前年を下回った(前年比84.0%、前月比171.5%)。 内訳ではチルド:14.9千トン(前年比81.7%、前月比111.3%)、フローズン:38.3千ト(前年比84.9%、前月比217.3%)となった。 輸入相手国別では、チルドはメキシコ以外の主要国が減少し、フローズンは主要国全てが減少した。 ○ 輸入量の減少が見込まれることから、5月、6月ともに前年同月を下回ると予測する。フローズンは、輸入品在庫量が比較的高水準であること等により、米国を除く 主要輸入先からの輸入量の減少が見込まることから、5月、6月ともに下回ると予測している。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和7年5月 合計:43.7千ト(前年比90.1%)、チルド:14.9千ト(同83.8%)、フローズン:28.8千ト(同93.7%) 令和7年6月 合計:44.2千ト(前年比92.9%)、チルド:15.8千ト(同89.2%)、フローズン:28.4千ト(同95.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和7年4月):牛腸(冷凍) :965.7ト(前年比71.5%・前月比87.5%) 国別実績;米国803.1ト、メキシコ84.7ト、カナダ45.3ト、豪州28.8ト、他 牛レバー(冷凍):111.4ト(前年比103.1%・前月比339.5%) 国別実績;米国82.8ト、豪州28.6ト、他	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和牛) 豚原皮 令和元年7月22日 700 10 令和2年3月16日 500 10 令和2年6月15日 100 10 令和2年7月20日 100 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年5月24日 10 10 令和5年10月16日 10 2		
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 4 月) : 57,595枚(前年比109.7%、前月比129.8%) 国別実績;タイ48,050枚(前年比135.6%)、韓国7,795枚(同55.9%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 7 年 4 月) : 2,640円/枚(前年差▲11円、前月差+12円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 7 年 月) : 牛大判皮12,098枚(前年比81.7%、前月比115.5%)、ウェットブルー16,635枚※(同84.3%、同173.0%) ※4.4㎡/枚で計算 輸 入 平 均 価 格 (令 和 7 年 4 月) : 牛大判皮7,236円/枚(前年差▲1,333円、前月差+319円)、ウェットブルー8,038円/枚(同▲3,348円、同▲569円) ○ 海 外 情 勢 : 4月輸出価格は保合いとなった。貿易摩擦による先行き不透明感から様子見の状況が続く。 ○ 国 内 情 勢 : 海外産WB価格が下落し、国内産との価格差が小さくなっている。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和ヌキ) 豚原皮 令和元年8月15日 1,000 10 令和2年3月16日 800 10 令和2年6月22日 300 10 令和2年7月27日 300 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年6月1日 10 10 令和5年10月23日 10 2		
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 4 月) : 1,104,476枚(前年比97.3%、前月比100.2%) 国別実績;タイ810,196枚(前年比94.3%)、ベトナム178,980枚(同153.7%)、カンボジア101,800枚(同68.1%)、韓国13,500枚(同128.6%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 7 年 4 月) : 355円/枚(前年差▲21円、前月差▲2円) ○ 需 給 動 向 : 底値を脱したところから低位での保ち合いが継続。依然海外タンナーの在庫過多状況は解消されていない。 米国向け製品の不透明感から、停滞感が強まっているため、今後の価格下落が懸念される。			
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(5月渡し):牛脂155円/kg(前年差+10円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同±0円、同±0円) 供給面では大きな動きは見られないものの、牛脂、豚脂ともに需要が堅調。 SAF向けで廃食用油の需給が引き締まる中、タイト感が強まっている。 ○ マレーシア産パーム油相場(5月):215円/kg(前年差+47円、前月差+1円) 4月生産量は168万トン(前月比121.5%)、輸出量は110万トン(同96.2%)、月末在庫は186万トン(同119.4%)となった。 世界的なバイオ燃料需要の拡大観測が相場を下支えしている。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (5 月) : 124円/kg(前年差+10円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (5 月) : 105円/kg(前年差+10円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(5月):133円～136円/kg程度(前年差+10円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg 価格改定年月日 牛脂 豚脂 令和4年7月1日 195 190 令和5年1月1日 175 175 令和5年4月1日 165 175 令和5年7月1日 155 165 令和5年10月1日 145 155 令和6年7月1日 145 145 令和7年2月1日 155 155		